



留萌市議会だより

留萌市議会

検索



※左記のQRコードからも留萌市議会のホームページにアクセスできます。

第151号 議会です こんにちは

主な内容

- P4 ・新年のご挨拶
- P4 ・各組合議会からの報告
- P4 ・公共施設整備調査研究会視察
- P8～P10 ・第4回定例会一般質問
- P5～P6 ・各常任委員会からの報告
- P11 ・こんなことが決まりました
- P7 ・道北支部議長会議員研修会
- ・議会の動向 …………… ほか

市民の皆様、明けましておめでとございます。

令和6年を市民の皆様と共にお迎えできますことを心からお慶び申し上げます。

日頃から、留萌市議会に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。



決意新たに！



市議会では、市民ニーズの把握に努め、その声を議会に反映させる取組として、昨年夏に「市民と議会の意見交換会」を開催したほか、SNSを活用するなど、議会基本条例に基づいた「わかりやすく、開かれた」議会の実現を目指し、積極的な議会情報の発信に努めております。

14人の議員で、市への監視機能を発揮し、多種多様な民意の反映、政策の立案等を実現していくため、議会運営の創意工夫、議員の資質の向上等、市民の皆さまの負託に応えるよう、議員一同決意を新たにしているところであります。

本年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。

議長 燕 昌克

公共施設整備調査研究会視察 〈小清水町、北見市〉

「留萌市議会公共施設整備調査研究会」は、新たな公共施設建設の参考とするため、昨年10月に行行政視察を行いました。情報共有のために研究会メンバーのほか、執行部の職員も合わせて12人が参加。小清水町と北見市役所を訪れました。小清水町では、防災拠点型複合庁舎「ワタシノ」を視察。全国初の「フェーズフリー」の概念を具現化した庁舎であり、大変興味深く、参考になりました。また、モンベルショップや「ほがじゃ」工場を見学し、企業誘致や廃校舎利活用の参考となりました。北見市役所では、申請書や届出書等を「書かない」窓口として1か所のカウンターで手続きを受け付ける「ワンストップサービス」など、システム活用の窓口サービスを導入しており、留萌市でも必要性を感じました。



ふるさと納税寄附額予想前年より増 水産振興センターの整備検討継続

第1
常任委員会
の報告

◎委員長 戸水美保子 ・村上 雅彦 ・小野 敏雄 ・野崎 良夫
○副委員長 宇川 達朗 ・鈴田 亜湖 ・村山ゆかり

総務部・地域振興部・都市環境部からの議案・報告・情報提供事項について確認した。

総務部から、留萌市中期財政計画で令和6～10年度の中期財政見通しとして、令和4年度決算ではすべての会計において黒字決算、実質公債費比率も改善し、令和5年度末にも10%未満を維持する見込みと説明を受けた。

地域振興部から、令和5年度ふるさと納税寄附申込状況の説明を受け前年10月比、件数約562%・寄附額約445%と共に伸長し、11月時点で年度末の見込みが17億円に設定された。

このほか、ブルーカーボン推進試験事業の実施経過や水産振興センターの整備検討状況の説明を受けた。同センターは市内水産業の更なる振

興を目的に、各種機能を備えた計画になっている。今後新たな補助制度を模索し検討が進められる。



都市環境部から、令和6年1月から水道料金のスマートフォンアプリ決済が導入される説明を受けた。決済事業者アプリを起動し、納付書ハガキに印刷されたバーコードをスキャンして完了。手数料は54円。このほか、旧るもいプラザ底の天井落下に伴う緊急対応の説明を受けた。

第1常任委員会行政視察「東北1市2町」

岩手県紫波(しわ)町



▲紫波町議場

民間の事業力を生かした企業版ふるさと納税制度の活用により、町の財政負担を最小限に抑え、関係人口増加等を実現する「紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業」について視察。また、地域交通においても、民間事業者からの提案によりAI配車システムを用いたデマンド型乗合バス「しわまる号」について説明を受けた。

秋田県美郷(みさと)町

平成31年1月に株式会社モンベルと包括連携協定及び防災協定を締結している美郷町では、道の駅「美郷」内に秋田県初出店となるモンベルショップの開店を支援。道の駅「美郷」への入込客数、売上額ともに増加し、経済効果を実感していた。ただ、アウトド



▲美郷町会議室

アを推進する中ではイベント参加率の低さ、ネイチャーガイド育成の難しさが課題との説明があった。また、モンベルを誘致したことで、若者に活気が生まれるという変化もあったとのことだった。

宮城県石巻市

「コミュニティを核とした持続可能な地域社会の構築」について視察。震災以降、復旧・復興事業を最優先で進める中で、①経済面ではハイブリッドリユースによる新産業を創出し、地域産業の活性化・資源の有効使用を図り、②環境面ではグリーンスローモビリティによる環境負荷の低減、③社会面では地



▲石巻市役所前

域交通情報アプリの構築による移動手段の確保が行われ、この3側面を関連させながら事業の相乗効果を狙っていた。

大震災を乗り越えたまちが「おたがいさま」「ありがとう」で支え合うまちづくりを進めていて、非常に感銘を受けた。SDGsの取組も参考になることが多かった。

第2
常任委員会
の報告

証明書コンビニ交付サービス開始 全国学力・学習状況の調査結果

◎委員長 米倉 靖夫 ・川村 忠司 ・横田 美樹 ・村上 均
○副委員長 田村 裕樹 ・燕 昌克 ・小沼 清美

市民健康部、教育委員会、留萌市立病院の所管事務調査を行う。

市民健康部から、令和5年12月11日から開始される証明書のコンビニ交付サービスについての説明を受ける。取得できる証明書は『住民票の写し』『印鑑登録証明書』で、マルチコピー機が設置されている、コンビニエンスストアやマックスバリュ、サッポロドラッグストアなどで発行できるが、発行にはマイナンバーカードとその暗証番号(利用者証明者用の数字4桁)が必要となることを確認した。



▲証明書が発行できるマルチコピー機

教育委員会より、令和5年度全国学力・学習状況調査結果についての説明を受ける。小学校では国語について、北海道平均正答率を0.2%上回ったものの、全国平均で見ると国語、算数ともに下回る結果であった。中学校では、特に英語について全国、北海道と比較しても大きく平均から下回る結果であり、市としても、GIGAスクール構想により整備した端末を活用し、河合塾との包括連携協定により導入したAI学習ドリルの活用を進めるなど、学力向上に向けた支援を行うとの説明を受ける。

市立病院より、令和6年1月1日から、看護師及び看護助手の不足に伴い『地域包括ケア病棟』の一時休床する説明を受ける。

第2常任委員会行政視察「栃木県矢板市、那珂川町、高根沢町」

第2常任委員会は、栃木県の矢板市、那珂川町、高根沢町にて行政視察を行った。

矢板市

休日部活動の段階的な地域移行のケースモデルとして先んじて実践研究を行っており、現在留萌市が抱える部活動の運営方法や制度設計等の諸課題解決に向け、その取組や実践研究から見えてきた課題や実情など、担当者から詳しく説明を受けた。



▲矢板市議場

那珂川町



▲子育て支援センター「わかあゆ」

積水ハウス株式会社グループと事業締結し、子育て支援住宅「エミナール那珂川」を整備。隣接して子育て支援センター「わかあゆ」を配置するなど、子育て世代が安全、安心に暮らして行ける施策を調査した。その他にも、那珂川町ファミリー・サポート・センターが実施する登録制の子育て支援施策についても説明を受けた。

高根沢町

平成15年より、表面的な学校復帰を目的とせず、子どもたちが安心して心を休ませ、自分らしい自分を発見し社会的自立を目指すことを目的とし開設している、フリースペース「ひよこの家」を調査した。留萌市でも令和5年度から教育支援センター「ゆっくるも」が開設されており、議会としても本視察での学びを活かし、しっかりと支えていきたい。



▲フリースペース「ひよこの家」

道北支部議長会議員研修会

上川管内町村議会・北海道市議会議長会道北支部議長会議員研修会(10月19日、旭川市開催)に議員11人が参加しました。講演1では、「住民から期待される議会になろう!」と題し、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏が講演。

中村氏は、JR四国社員を経て、平成11年に27歳で徳島県川島町長に初当選。全国最年少の首長となりました。町長を2期務め、現在は政策アドバイザー、まちづくり人材育成アドバイザーとして、自治体の行政・議会双方の活動を多数支援しています。

高校生が地域活性化策を陳情書にまとめ市議会に提出した取組や建設課ができる子育て支援など全国の取組事例を紹介、地域の未来が変わる手法を学びました。



▲講演1 「住民から期待される議会になろう!」
中村健氏



▲講演2 「スクープに見る企業の危機管理」
新谷学氏

講演2では、文藝春秋総局長の新谷学氏が「スクープに見る企業の危機管理」について講演。

「親しき仲にもスキャンダル」などスクープの内幕を織り交ぜながら、自治体や議会に通じる〈危機管理の5つのキーワード〉を強調していました。

- ① 最優先で守るものを見定める
 - ② ネガティブな情報ほど早く共有（上げさせる）
 - ③ 常に最悪を想定する
 - ④ 情報開示は一刻も早く
 - ⑤ トップの首は組織を守る為にある
- 悪い広報とは『逃げる隠す嘘をつく』
新谷さんの興味深いお話から、たくさん
の気づきをいただきました。

各組合議会からの報告

留萌消防組合議会

留萌消防組合議会第3回臨時会を令和5年10月30日16時より留萌市議会議場で開催し「留萌消防組合公平委員会委員の選任」について同意しました。

また、第2回定例会を12月5日15時より開催し、「令和4年度留萌消防組合歳入歳出決算の認定について」を審議し認定、「令和5年度留萌消防組合補正予算(第2号)」「留萌消防組合職員給与条例の一部を改正する条例制定について」「留萌消防組合火災予防条例の一部を改正する条例制定について」をそれぞれ慎重に審議し、可決しました。

留萌南部衛生組合議会

令和5年10月10日、留萌南部衛生組合は紋別市の「西紋別地区広域ごみ処理センター(焼却施設)」に、野崎議長をはじめ13名(議員9名、職員4名)で視察をしました。

「焼却施設」の能力は、縦型ストーカ式26t/日(13t×2炉)で平成25年1月に供用開始された施設です。

当日は、施設紹介映像視聴、質疑応答、施設内視察の日程でありましたが、今後の建設計画に対し大いに参考になりました。

令和5年12月5日、留萌南部衛生組合議会第2回臨時会が開催され、補正予算案(歳入歳出30万3千円)など2件を可決しました。

令和5年第4回定例会 一般質問と答弁



こぬま きよみ
小沼 清美
〔無党派〕

質問 学校給食について

給食センターは子どもの教育にとって大切な公共施設。このことから、給食センター民間売却に異議を唱えてきた教育委員3名が辞職したことについて市長の受け止めを伺う。また、民間は利益優先であり、給食センターの民間売却した場合、給食事業から撤退する可能性もある。このように将来の保障がないことから、給食は市がやらなければならない事業と考える。市長の見解を伺う。

給食無償化は、子どもたちを直接支援できる。国による無償化が行われるまで、市が直営で学校給食を支えながら、市の施策として優先度をあげて、給食無償化を行うべきと考えるが、市長の見解を伺う。

〔答弁〕 辞職された教育委員の方々が長年、留萌市の教育のためにご尽力をいただいていたことに感謝するとともに、任期中で辞職されたことは大変残念に思っている。また、地域における給食産業ということでも、給食センターの民間売却はよい提案と考える。子どもたちに影響を与えないように、行政として監視していくことも必要だと考えている。



▲民間売却を検討される学校給食センター内のお様子

給食無償化のために、毎年6千万円を出していくことは非常にきびしい。この案件については、こども家庭庁を含めた国の教育に対する子ども施策を、もう少し見極めていきたい。



のざき よしお
野崎 良夫
〔無党派〕

質問 今後の水道事業

2018年の水道法改正において「コンセッション方式」が導入されたことについて見解を伺う。

経営戦略に基づき、施設整備事業が遅れている。何が課題なのか。状況の変化があったのか伺う。

施設整備事業における具体的な施設能力が明らかにされていないのはなぜか伺う。

〔答弁〕 「コンセッション方式」について、現在のところ導入の予定はない。

令和7年度以降の整備計画を見直して、経営戦略を改定する。

次期経営戦略策定の際、現状の水需要に合わせた施設能力を検討する。

質問 地域住民の移動手段の確保

公共交通政策の政策的優先順位の向上を図るべきと考えるが、見解を伺う。

地域自らデザインする地域公共交通の取組について伺う。

「高齢者市内バス利用促進助成事業」を来年度以降も継続すべきと考えるが見解を伺う。

〔答弁〕 政策的には、優先度の高い喫緊の課題であると認識している。

留萌市地域公共交通計画（素案）の内容を精査し、令和6年度に向けて活性化協議会で協議する。

実証実験の状況を把握し、次年度の運用等について高齢者の期待に応えられるよう、検討をする。



▲水道工事作業の様子



うかわ たつろう
宇川 達朗
〔萌政会〕

質問 带状疱疹ワクチンについて

予防医学の観点より、健康寿命を延伸させ、社会保障の担い手を増やすことは今後の留萌市にとっては有益であり、带状疱疹ワクチンを助成することの意味があると考えるが市長の見解を伺う。

〔答弁〕 带状疱疹の予防のためのワクチンは「予防接種法」で「任意接種」ワクチンとなっている。带状疱疹予防のためのワクチン接種が高額であることなどから発症予防のためのワクチン接種への支援要望があることも承知しており、実施する場合の施策について検討していく。



▲带状疱疹ワクチン

〔質問〕 医療的ケア児の支援について留萌市の医療的ケア児に対する取組について、把握できているケア児の人数について伺う。

令和5年第4回定例会 一般質問と答弁

②

留萌市の医療的ケア児が保育園や小学校に入園、入学希望があった場合の対応について伺う。

〔答弁〕医療的ケア児の支援は担当課及び子ども発達支援センターが個別に行っている。把握できている医療的ケア児の人数は1名。

医療的ケア児については、保育園、小中学校ともに受け入れ実績はなく、市内の医療的ケア児も少数であることから常時受け入れにはなっており、人員の確保など時間を要する場合は、児童の状態によっては受け入れが難しい場合もあるが、可能な限り受け入れできるように努める。



むらかみ まさひこ
村上 雅彦
〔無党派〕

質問 会計年度任用職員の処遇について

パートタイム会計年度任用職員の期末手当の支給月数は、一般職の常勤職員との均衡・権衡の観点から同様の月数にすべきと考えるが、見解を聞きたい。勤勉手当についても、一般職の常勤職員と同様とすべきと考えるが、現在は規則等がない。そこで、今後の取り扱いについて聞きたい。

また、採用時の賃金決定について、経験年数換算を一般職の常勤職員を

採用する場合と同様に換算すべきと考えるが、見解を聞きたい。



▲業務処理を行う職員のみなさん

〔答弁〕期末手当は、職務や業務内容を考慮し、常勤職員の中でも再任用職員の基準に準じて取り扱う制度設計としている。ただ、制度開始から一定程度期間がたっており、行政サービスの複雑化、多様化していく中、常勤職員との均衡を図ることを基本に、職務に応じた適正な処遇に向け、また、勤勉手当についても同様に適切な処遇となるよう、職員団体と引き続き協議を行っていく。

会計年度任用職員の報酬については、職務に応じて必要となる実務経験を考慮し、職種別基準表で報酬の月額を定めている。制度スタート時より分かりやすい制度として運用しているが、様々な考えがあるので、今後、職員団体と協議を進めたいと考えている。



かわむら ただし
川村 忠司
〔萌芽クラブ〕

質問 市の交通インフラについて

留萌市地域公共交通活性化協議会において、今後のこの協議会における懸案事項について、市の考えを聞きたい。また、市内路線バスの減便により通勤通院が不便になった、公共施設に停留所が少ないなどの声がある中、市としてバス事業者に要望を出す考えがあるか聞きたい。



▲学生の利用が多い停留所

〔答弁〕公共交通の大きな転換期を迎え、代替交通等の新たな交通体系を構築する必要が生じたことと、市内バス路線の利用促進対策等を踏まえ、現在「留萌市地域公共交通計画（素案）」の内容を精査しており、令和6年度策定に向けて協議していく。医療や介護、エネルギー、教育、買

い物等といった他分野との垣根を超えた事業連携による共創も視野に入れた検討していく必要がある。

質問 部活動の地域移行について

7月より段階的に進めていくとあった部活動の地域移行について、現在の取組と見えてきた課題、また未対応の部活動の今後の取組について聞きたい。

〔答弁〕今年7月に地域移行のコーディネート業務について留萌スポーツ協会と委託契約を締結し10月から本格的な活動を開始した。未対応競技については、指導者の確保や練習場所への移動手段、保護者負担の在り方等、課題を整理し対応していく。



むらやま ゆかり
村山 ゆかり
〔未来クラブ〕

質問 留萌港の発展と課題

築港86年の留萌港は、国際情勢、道内火力発電所の廃止等で貨物取扱量が減少している。展望を聞きたい。バラ化小麦倉庫の老朽化における新たな小麦集出荷施設整備の進捗、概算事業費と財源を聞きたい。

〔答弁〕留萌港三泊ふ頭の石炭荷役に代わる活用方策の一つとして、洋上風力発電の拠点としての利活用を見据え、関係機関と協議を進める。基本計画を完了し、実施設計中。

令和5年第4回定例会 一般質問と答弁

③

ホクレンから3万6千トンの小麦オ
ーダーは十分可能であり、全面的に
協力する合意を得ている。概算事業
費は、約20億円。国の補助採択に向
けた手続きを進めている。



▲老朽化が激しい昭和42年建設のバラ化
小麦倉庫

質問 障がい児と家族をサポート
市子ども発達支援センターの現在
の登録数は140人。相談業務にあ
たる専門支援員の増員が必要ではな
いかという実態も聞いているが、課
題を聞きたい。支援に関わる関係機
関、放課後デイサービス等と情報交
換や意見交換が必要。連携を深める
取組はできないか聞きたい。

答弁 一部支援事業における利用者
数の伸びで指導員の負担増が課題と
なっていたが、ICT導入による業
務改善を図りながら対応している。

各事業所から情報共有・意見交換
の必要性を確認しながら、目的や活
動内容を整理していきたい。



とみずみほこ
戸水美保子
〔留萌公明党〕

質問 学校給食について

市は学校給食センターを民間事業
者に譲渡し、活用して「食品製造拠
点をつくる」と説明されているが、
これまでの地元事業者が事業を継続
できなくなったり、地元事業者の雇
用が失われたりして、まちが衰退す
る恐れはないのか。増えているふる
さと納税を活用し、給食センターを
改修して調理業務の委託に留めては

答弁 学校給食事業を受託する民間
事業者が留萌市に拠点を構え、地域
と連携した経済活動を行うことによ
り、市内全体の経済活性化につなが
るものと考えている。給食で取り扱
う食数が増加することで、調理員の
雇用増や地元事業者の食材の取引量
の増加が期待され地域経済に与える
影響は大きい。民間事業者が施設を
改修・利活用し、事業を展開するこ
とが望ましい形だと考えている。

質問 公衆浴場への支援について

昔から市民に親しまれている、市
内唯一の公衆浴場に対して、市とし
て入浴環境の整備費用を支援する考
えはないか聞きたい。

答弁 市では公衆浴場の補助金交付
要綱を制定しているものの、ホテル

神居岩は「その他の公衆浴場」との
許可であることから、補助対象外の
施設となっている。今後、他自治体
の状況を調査し要綱の改正などを検
討したい。



▲留萌市内唯一の公衆浴場



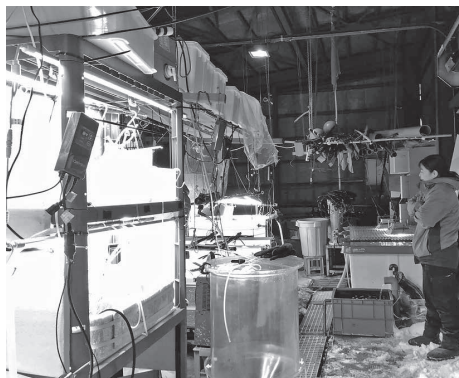
よねくら
米倉 靖夫
〔未来クラブ〕

質問 水産振興センターの整備

ナマコ種苗を行っている三泊漁港
の畜養施設は、築40年以上が経過、
老朽化と狭隘などを解消するため、
新たな「水産振興センター」建設を
計画している。中西市長就任時から
の公約。漁業者はいつ建つのかと期
待を寄せている。一日も早い施設整
備を期待しているが展望を聞きたい。

答弁 さらなる水産振興を進める上
においても水産振興センターの必要
性を十分認識している。有利で活用

可能な補助制度を模索するとともに
各種補助制度の成果目標に即した事
業計画の作成について調整を行い、
早期整備に向け検討していきたいと
考えている。



▲手狭になっている三泊の畜養施設

質問 ふるさと納税の現状と課題

ふるさと納税制度は、昨年10月か
ら寄付金額の引き上げや返礼品の変
更があった。今後どのような制度改
正があるか分からない。基金は一定
程度留保しながら、基金を貯める力
をつけていくべき。今後の基金の運
用方法について聞きたい。

答弁 令和5年度ふるさと納税寄
付金額は、17億円を見込んでいる。
募集に要する費用に係る事務費の精
査を進め、寄付者に選ばれる自治体
を目指し、取組を進めていきたい。

ふるさと納税基金は、大型投資に
備えて積立をすることはもちろん、
市民に還元する政策を考えたい。

議会の動向

令和5年9月5日から12月5日
までの議会の動向を報告します

- 5.9.5 令和5年留萌市議会第3回定例会開会日
- 9.7 第1 常任委員会
- 9.11 一般質問、議会運営委員会
- 9.12 海上自衛隊掃海艇「あおしま」入港
歓迎式/特別公開、一般質問
- 9.13 海上自衛隊掃海艇「あおしま」歓迎懇親会
〃 令和4年度決算審査特別委員会
- 9.14 海上自衛隊掃海艇「あおしま」見送り、本会議
- 9.15 大湊地方隊創設70周年記念行事音
楽隊コンサート/祝賀レセプション
- 9.16 大湊地方隊創設70周年記念行事記
念式典/基地開放オープニングイベ
ント、飛行展示/大湊基地ツアー
- 9.21 公共施設整備調査研究会
- 9.22 各派代表者会議
- 9.28 第1常任委員会、第2常任委員会
〃 第48回富士登山駅伝競走大会留萌
自衛隊チーム第3位入賞祝賀会
- 10.5 第1常任委員会行政視察(岩手県紫
波町、秋田県美郷町)
- 10.6 第1常任委員会行政視察(宮城県石巻市)
- 10.12 議会広報広聴常任委員会
〃 各派代表者会議
〃 夕張市議会行政常任委員会行政視察
- 10.13 北海道市議会議長会道北支部議長会(秋季)
- 10.14 北海道留萌高等学校創立百周年記念式典祝賀会
- 10.16 公共施設整備調査研究会行政視察(小清水町)
- 10.17 公共施設整備調査研究会行政視察(北見市)
- 10.18 熊本県菊池市議会福祉厚生常任委員会行政視察
- 10.19 令和5年度北海道市議会議長会道
北支部議長会議員研修会
- 10.21 海上自衛隊掃海艇「いずしま」入港
歓迎式/特別公開/歓迎懇親会
〃 東京留萌の会
- 10.23 留萌市老人クラブ連合会創立60周年記念式典/祝賀会
〃 令和5年度全国市議会議長会基地
協議会北海道部会定期総会
- 10.25 第2常任委員会行政視察(栃木県矢
板市、那珂川町、高根沢町)
- 10.27 札幌留萌の会
- 10.28 第二十六普通科連隊市中パレード/懇親会
- 10.30 第1常任委員会、第2常任委員会
- 10.31 全員協議会
- 11.2 令和5年度「空き家・空き地問題に関する特
別委員会」正副委員長会議/第2回委員会
- 11.3 留萌市功労等表彰式
- 11.11 社会福祉法人留萌萌幼舎沖見保育
園・みどり保育園創立50周年記念式典
- 11.14 令和5年度「空き家・空き地問題に関
する特別委員会」現地調査
- 11.15 陸上自衛隊留萌駐屯地の充実・発
展を求める要望活動(旭川要望)
- 11.17 第2常任委員会、各派代表者会議
〃 議会広報広聴常任委員会
〃 公益社団法人留萌地方法人会提言書受理
- 11.20 海上自衛隊と留萌市の連携強化を求める要望活動
- 11.21 陸上自衛隊留萌駐屯地の充実・発
展を求める要望活動(札幌要望)
- 11.22 陸上自衛隊留萌駐屯地の充実・発
展を求める要望活動(中央要望)
- 11.24 第1 常任委員会
- 11.28 令和5年度まちづくり懇談会
- 12.1 議会運営委員会、各派代表者会議
- 12.5 令和5年留萌市議会第4回定例会開会日

こんなことが決まりました

令和5年 第4回定例会 12月5日～13日

令和5年 第4回定例会

報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の報告について(令和5年度留萌市一般会計補正 予算(第9号)について) ・専決処分の報告について(訴訟上の和解について) ほか1件…承認 ・専決処分の報告について(損害賠償について) ほか2件…了
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度留萌市一般会計補正予算(第12号) ・留萌市一般職員給与条例等の一部を改正する条例制定に ついて ・留萌市空家等の適切な管理に関する条例制定について ・留萌市コミュニティセンター設置条例の一部を改正する 条例制定 ・留萌市観光施設等の指定管理者の指定について ・留萌市文化センター等の指定管理者の指定について ・市立留萌図書館の指定管理者の指定について ・令和5年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) ・令和5年度留萌市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第1号) ・令和5年度留萌市介護保険事業特別会計補正予算(第2号) ・令和5年度留萌市港湾事業特別会計補正予算(第1号) ・令和5年度留萌市下水道事業特別会計補正予算(第2号) ・令和5年度留萌市水道事業会計補正予算(第1号) ・令和5年度留萌市病院事業会計補正予算(第2号) ・留萌市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営 に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定に ついて ・留萌市下水道事業の剰余金の処分等に関する条例制定に ついて ほか8件…原案可決 ・留萌市教育委員会教育委員の任命について ほか2件…同意
意見書案	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護・障がい福祉分野における処遇改善等を求める 意見書 ・食品ロス削減への国民運動のさらなる推進を求める意見書 ・認知症との共生社会の実現を求める意見書…原案可決



編集後記

●明けておめでとうございます。

議員改選から、3回目の市議会だより
となりました。新しい視点と斬新なアイデアで、市民の皆さん
が知りたい情報をお届けできるよう心がけながら、これからも
伝わりやすい方法を模索し、市民目線の広報誌を目指してい
きます。今年も活発な議会活動に取り組んでいきます!(忠)